



自由民主党福岡市議団

# 稲員としお 市政報告

2019年号 Vol.4



- ・平成28年度第2委員会副委員長(教育・子育て支援・福祉)
- ・平成29年度文化、スポーツ推進協議会副会長(文化とスポーツの振興)
- ・平成29年度都市問題等調査特別委員会委員
- ・平成29年度議会運営委員会委員
- ・社会教育委員会委員 ・子供子育て審議会委員 ・病院事業運営審議会委員
- ・中央保健所運営協議会委員 ・中央区剣道連盟理事 ・福岡市空手道連盟顧問
- ・ニューはつらつスポーツの会顧問

## 初当選からこれまでの議会質問での取り組み <抜粋>

### 福岡城再整備とセントラルパーク構想について

舞鶴公園と大濠公園の一体的活用と福岡城跡鴻臚館跡歴史資源の早期整備と活用へ向けた強化を求めています。又、年間を通して出来るBBQ施設の設置を求めました。**H30年9月からBBQ施設が西側広場に開設しました。**



### 住まいサポート福岡について

高齢者の住替支援の充実を求めています。又、協力団体等との連携の強化を求めています。



### 消防団員の確保について

地域の防災力向上、伝統技術の継承を含めこれまでの団員の方々の努力や苦勞を無駄にする事がない様、消防団は地域の防災、防犯でも重要である事から団員確保の強化を求めています。



### 薬物依存症対策について

薬物依存症の相談や患者本人や家族への支援や事業の広報等の強化を求めています。



### 少子化対策と不妊治療について

精神的、金銭的負担の大きい不妊治療(保険適用外)人工授精の治療費への本市単独助成制度の創設を求めました。**H30年7月より保険適用外の人工授精への本市単独助成制度が開始されました。**



### 緊急時にAEDが使用できるための取組みについて

急に心臓発作などで倒れた人に出くわした際にすぐに対応できる様AED設置施設や場所を分りやすくする必要がありますを訴えています。



### 移動支援について

高齢者の在宅生活支援の為、通院、買い物等の移動手段の充実を求めました。また、高齢者乗車券はこれまで通り利用できる様求めています。



### 教科用図書の採択について

H27年市立中学校校長が教科書採択の際発行者から現金等を受け取っていた事件があり、未来を担う子供達が使用する教科書が公正かつ適正に採択されるようこれまでの採択の仕組みの見直しを求めました。



### 歩行喫煙の防止について

歩行喫煙の危険性を、市民へ多様な方法により啓発の強化を求めています。



# 「思いやり」の心を持って市政へ取り組んで参ります。

## 臓器提供意思表示の啓発と臓器移植への理解について

臓器移植をした事で、社会復帰できる人もいながら臓器提供がまだまだおいていない状況の中、意思表示カードの啓発や、子供達にも命の大切さを理解してもらえる事も含めて正しい移植医療への知識を普及していく様求めています。



## 本市の医療費助成制度について

子ども医療費助成制度の通院費を中学生3年生までに拡大する事、そして、本市医療費に対して県からの補助金が県内の他の市より少ない事から、県費補助金の拡充を求めていく様求めています。

高島市長が現在、県と県費補助の拡大へ向け事務的な協議をしたい旨、県と協議しております。



## 保育行政の充実について

待機、未入所児童数が今まだ1,400人程いる中、新設保育園の建設も大切であるが、待機児童が減らない大きな原因は保育士不足であり、それは保育士の仕事内容に給料が伴っていないことである事から、保育士の処遇の改善を、しなければならない事を求めています。また、車を所有していない家族の子供を近隣の保育園に入所できる様なポイント制度への見直しを求めました。



## 健康都市福岡について

高齢者の健康寿命の延申に向け、食事、運動、社会参加の重要性をふまえジムなどに通わずとも普段生活をしながら健康づくりが出来る様な街づくりを求めています。



## H30年12月議会において質問致しました。

### ①セントラルパーク構想と舞鶴公園について

舞鶴公園内のスポーツ施設を廃止する方針がある中、テニスコートは中央区には代替施設がない為高等裁判所跡地への移転を求めました。

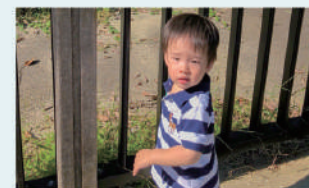
担当局長より高等裁判所跡地への移転の方向で考えていると答弁を頂きました。



### ②動物園について

本市動物園の防災対策と災害時の来園者と動物への対応強化と、ゾウ、サイ、シロクマ、ゴリラが現在居ない事で子供達ががっかりしている姿を見た事で「ゾウ」「サイ」を本市動物園へ導入する様求めました。

高島市長より、国際関係や姉妹都市との関係が大切であり、これまで培ってきたチャンネルを駆使して、先頭に立って取り組みを進めると答弁を頂きました。



### ③医療的ケア児の受け入れ体制整備について

保育園を利用したくてもできない。又、通常の小・中学校に通うのにも親の付き添いが無ければ通えない。そういう子供達が居ます。それは医療的なケアが必要な子供達です。保育園や公立の小・中学校での受け入れ体制、整備には色々な方の声を聞くよう要望致しました。

